

平成26年度

— 第13回（定例・臨時） —

## 教育委員会会議録

開 会	平成26年11月25日	午前 午後	2時00分			
閉 会	平成26年11月25日	午前 午後	2時40分			
会議場所	春日野荘 飛鳥東					
委員出欠	花山院弘匡	出	佐藤 進	出	森本哲次	出
	藤井宣夫	欠	高本恭子	出	吉田育弘	出
議事録署名	教 育 委 員 長					
委 員	教育委員長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

## 議案及び議事内容

○花山院委員長「ただ今から、平成26年度第13回定例教育委員会を開催いたします。本日は、藤井委員が欠席ですが、定足数を充たし委員会は成立しておりますので、これより委員会を開催いたします。」

○花山院委員長「はじめに前々回の定例教育委員会会議録の承認についてです。」  
「お手元に配付している会議録について、各委員内容をご確認ください。」  
「ご承認を頂けますでしょうか。」

承認

※ 各委員一致で承認

### その他報告事項

○花山院委員長「それでは、本日の案件に入ります。本日は、議決、承認の必要な議案はございませんが、報告、連絡事項等があると聞いています。」

○花山院委員長「報告・連絡事項等について説明願います。」

○教育長「その他報告事項が3件ございます。教職員課長から1件、学校教育課長から2件を続けてご報告いたします。」

#### 1 奈良県立高等学校等処務規程の一部改正について

○教職員課長「教育公務員が、教育に関する他の職を兼ね、又は教育に関する他の事業若しくは事務に従事する場合は、教育公務員特例法第17条及び奈良県立高等学校等処務規程第26条の規定に基づき、所定の手続きによりその承認を受ける必要があります。また、地方公務員が営利企業等に従事する場合は、地方公務員法第38条及び奈良県立高等学校等処務規程第27条の規定に基づき、所定の手続きによりその許可を受ける必要があります。今回の改正内容は、教育長の指定する業務に限り、承認並びに許可を校長が専決するということです。教育長が指定する業務とは、公務ではないが教育に関する公益性が高く、かつ学校教育に有益なものについて、校長以外の職員が、団体の職につき、又は団体の業務若しくは団体の主催する業務を行う場合のうち、従事時間が勤務時間外で報酬を得るもの又は従事時間が勤務時間内で報酬を得ないものことです。なお、団体とは、学校関係団体、教育に関する公益財団法人又は公益社団法人、教育に関する非営利型法人である一般財団法人を指します。この改正は平成27年4月1日から施行します。」

#### 2 奈良県産業教育フェアについて

○学校教育課長「今年度の奈良県産業教育フェアは、「『なら』から創る『ゆめ』『みらい』」のテーマの下、平成26年11月8日に開催されました。平成4年に第1回が開催されて以来、内容を年々充実させながら本年度で23回目を迎えました。少しでも多くの人々にご覧いただくために、従来は高等学校で実施しておりましたが、今回はイオンモール橿原店で実施いたしました。各ブースの来場者数は約6,400人となり、昨年度を大きく上回りました。このフェアは、県内の職業に関する専門学科と中学校の技術家庭科を学ぶ生徒が一堂に会し、実習で制作した作品の展示や学んだ技術の披露、課題研究等の成果発表を通して、それぞれの特色ある取組について相互に理解を深めるとともに、広く県民へ紹介し、産業教育をより一層充実させることを目的としています。中学生の参加は進路選択に役立ててもらうためであり、特別支援学校の生徒は社会参加の一助として参加していただいております。この産業教育フェアを通じて、新しい時代に対応する産

## 議案及び議事内容

業教育の在り方を探るとともに、多くの人々に本県の産業教育に対する理解と協力を促し、更なる充実にまい進するためにも、引き続き支援をしていきます。」

### 3 奈良県高等学校総合文化祭について

○学校教育課長「平成26年10月26日から11月16日に、奈良県高等学校文化連盟と奈良県教育委員会の主催で開催いたしました。県内の高校生たちは、大会テーマである『鳴らせ文化の鐘、咲かせ笑顔の花』にふさわしく、県内各地で地域の伝統文化を伝えつつも、若くしなやかな感性と力強い生命力溢れる演奏や演技、競技、作品展示、発表等を行いました。現在集計中ですが、今年度の参加者は、おおむね昨年度並みです。最終日に奈良県文化会館で開催しました総合発表部門では、式典及び14部門のデモンストレーションを行い、教育長から祝辞をいただきました。さらに、森本委員と高本委員にもご出席いただきました。総合発表では、『ジャパン・マレーシア交流プロジェクト2014』で来日中のフル・スランゴール高等学校の生徒による伝統舞踊や、今年度から高等学校文化連盟以外で県内で文化活動を行う高校生の紹介をするという趣旨により、軽音楽連盟による演奏等、例年を上回る多彩な発表と交流がありました。この成果を次世代に引き継ぎ、芸術文化活動の更なる充実に向け、教育委員会としても支援をしていきたいと思っております。」

○花山院委員長「ただいまの件について、ご意見、ご質問はございませんか。」

○花山院委員長「奈良県産業教育フェアに参加した中学生について、学校名と参加者数を教えてください。総合文化祭では、企業にとっても高校生にとっても有益な取組は何かありますか。また、外国の学校や企業と交流があってもよいと思いますが、いかがでしょうか。」

○学校教育課長「産業教育フェアの来場者及び開催について、今年開催したイオンモールは、フェアの受付というものがなくオープンな会場ですので、参加した中学生の学校名等は把握しておりませんが、昨年よりも大きく人数が増えています。小物作りの催し等では、小学生の親子連れが多かったと思います。買い物に来られた方が足を止めてくださったり、奈良県の地域についての研究発表等もあったので、周知や啓発に十分な効果があったと考えます。今後の方向性として、できればあと1、2年は今回と同様にオープン会場で開催する考えですが、その後については検討していきます。

総合文化祭については、それぞれの部門の規模に大きな違いがありますが、どの部門も同じようにデモンストレーションを行いました。企業との共催は課題であると思いますが、全体や部門ごとの共催等、方法を検討する必要があります。また、各都道府県で総合文化祭を実施していますので、他の都道府県との広域的な交流も考えられると思います。外国との交流は、今回はマレーシアの方との交流がありましたが、積極的に実施することも視野に考えてまいります。」

○森本委員「産業教育フェアについて、県内の企業に参加してもらえれば、キャリア教育にもつながるのではないのでしょうか。また、奈良県立高等学校等処務規程の一部改正について、現在奈良県内で特例に当てはまる兼業をされている方はいるのですか。」

○学校教育課長「産業教育フェアとキャリア教育の連携は重要だと認識しております。企業との共催は課題ですので、検討していきたいと思っております。」

○教職員課長「人数は今すぐには分かりかねますが、全国高等学校野球連盟の役員や高等学校体育連盟の役員、奈良県高等学校野球連盟の役員等をされている方がいます。」

## 議案及び議事内容

- 森本委員「兼業されている方がいるということですね。」
- 教職員課長「そうです。新たに兼業の制度を設けるわけではなく、教育長が指定する業務については校長が専決できるようにするという事です。」
- 佐藤委員「産業教育フェアについて、このフェアの時だけ作品等の販売を行うのではなく、良いものは市場化するというのも良いのではないのでしょうか。」
- 学校教育課長「磯城野高校や榛生昇陽高校などではそれぞれの強みを生かして、いくつか商品化をされています。例えば、企業と提携し、地元の野菜を使った期間限定カレーの販売や神社を中心としたバスツアーの企画を商品化するなどされています。こういった活動が上手くいけば、もっと活性化するのではないかと思います。」
- 教育長「通常は文化祭等でしか販売できませんが、農業と家庭科は必要な手続きをした上でほかの場でも販売をしています。」
- 佐藤委員「名物になってブームが起こるかもしれませんね。」
- 森本委員「三重県では高校生レストランがありますね。」
- 花山院委員長「全国の高校生が食べ物を作って競うというのもおもしろいですね。」
- 教育研究所副所長「食の甲子園という大会があり、奈良は磯城野高校の創作料理が審査員特別賞を受賞しました。」
- 花山院委員長「審査員の方だけでなく、そこで作られた料理をみんなが食べることができて広がればよいですね。」
- 教育長「商品化するためには方法の検討が必要です。」
- 森本委員「総合文化祭に出席させていただきましたが、高校生の若々しい姿は素晴らしかったです。」
- 高本委員「総合文化祭はすごく良かったです。高校生にとって非常に良い経験になったと思います。舞台を見ていた下級生や小、中学生にも良い刺激になったのではないかと思います。また、産業教育フェアでは、高校生のアイデアを企業に出す機会をつくってあげられると良いですね。」
- 花山院委員長「他にご意見ご質問はありませんか。」
- ※ 各委員了承
- 花山院委員長「これらのその他報告事項については了承いたします。」
- 花山院委員長「本日の議案は全て終了いたしました。この他に報告、連絡事項等はありませんか。」
- 花山院委員長「それではこれもちまして、本日の委員会を終了します。」